

各府省別ヒアリング資料 (文部科学省)

陸域観測技術衛星2号（ALOS-2）の開発等の加速

平成24年度補正予算案：229億円

災害対応等に資する地球観測衛星の開発を加速させるとともに、JAXAの施設等の老朽化対策等を行う。

災害対応等に資する地球観測衛星の開発の加速

安心・安全で豊かな社会の実現に向けて、災害対策、気候変動等の地球規模の環境問題の解決等に資する、地球観測衛星の開発を加速。

○ 「だいち」後継機（ALOS-2）の開発の加速 [10,253百万円 <平成25年度打上げ予定>]

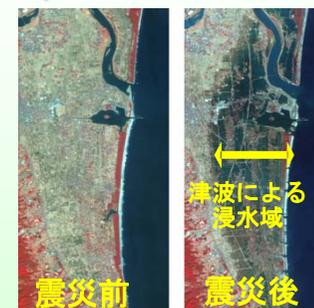
- ・ レーダによる広域観測により災害対策にも貢献する「だいち」後継機の開発を加速。（前号機である「だいち」（ALOS）は平成23年5月に運用を停止しており、観測体制に空白が生じている。）

○ 気候変動等の影響を把握する全球降水観測/二周波降水レーダ（GPM/DPR）、気候変動観測衛星（GCOM-C）等の開発の加速

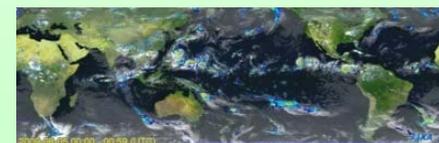
- GPM/DPR：2,244百万円 <平成25年度打上げ予定>
- GCOM-C：1,015百万円 <平成28年度打上げ予定>
- GOSAT-2：527百万円 <平成29年度打上げ予定>



「だいち」後継機（ALOS-2）



東日本大震災前後に撮影した「だいち」画像（宮城県名取市付近）



複数の衛星観測データを統合利用した全球降雨マップ

宇宙航空研究開発機構の施設・設備の老朽化対策等

ロケット打上げ、人工衛星の運用等を着実に実施するための施設・設備の老朽化対策等を行う。

[8,839百万円]

